



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 チムニー株式会社

コード番号 3178 URL <http://www.chimnev.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 和泉 學

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長

(氏名) 阿部 真琴

TEL 03-3626-2341

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

配当支払開始予定日

平成26年9月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	22,682	—	1,517	—	1,556	—	780	—
25年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 786百万円 (—%) 25年12月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	41.45	40.40
25年12月期第2四半期	—	—

(注) 平成26年12月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年12月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年12月期第2四半期	28,038	—	11,963	—	42.7	
25年12月期	—	—	—	—	—	

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 11,960百万円 25年12月期 一百万円

(注) 平成26年12月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年12月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年12月期	—	10.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,424	—	3,260	—	3,307	—	1,587	—	84.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想につきましては、平成26年12月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	19,340,800 株	25年12月期	19,340,800 株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	440,500 株	25年12月期	530,500 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	18,828,366 株	25年12月期2Q	19,252,486 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融政策を背景に、企業収益の改善や設備投資の増加、個人消費の持ち直しが見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、新興国経済の減速に加えて、消費税増税に伴う下振れリスクが存在するなど景気の先行きについては不透明な状況が続いております。当社グループの属する飲食業界におきましては、消費マインドの改善が見られたものの、企業間競争は激化し、原材料・エネルギーコストの上昇など、経営環境に影響を与えるリスクは依然として存在する厳しい環境が続いております。

このような環境の下、当社グループは、飲食業の六次産業企業として、バリューチェーンの構築を推進し、より鮮度の高い商品を提供できるように努めるとともに、お客様に楽しんでいただける店舗づくりを目指してまいりました。

飲食事業におきましては、昨年より展開を開始した「軍鶏農場」及び「豊丸水産」業態の出店を促進いたしました。「軍鶏農場」業態は各地の養鶏場と連携した仕入を実施し、「豊丸水産」は、かご網漁による船上直送の鮮魚を取り扱うなど、六次産業化の推進とともに拡大し、当第2四半期連結会計期間末では、「軍鶏農場」が26店舗、「豊丸水産」が22店舗となっております。また、変化するお客様のニーズやマーケットに即した活気ある店舗作りのため、既存店の改装及び業態転換に注力し、当第2四半期連結累計期間において直営店31店舗、フランチャイズ店2店舗の改装および業態転換を実施いたしました。

コントラクト事業におきましては、病院内食堂の受託運営を1店舗開始したほか、現在受託している店舗のメニューの見直し、人員配置の再構築を実施するとともに、新たな事業の受託への情報収集等に努めてまいりました。

店舗数につきましては、当社におきまして直営店の新規出店を14店舗（10店舗の退店）、フランチャイズへの建売が15店舗（フランチャイズ店から直営店への切り替えが2店舗）あったことにより、当第2四半期連結会計期間末の飲食事業直営店の店舗数は300店舗（前期末309店舗、前年同期末は305店舗）となりました。また、コントラクト店は100店舗（前期末98店舗、前年同期末は98店舗）、フランチャイズ店は新規出店が2店舗（10店舗の退店）、直営店からの転換が15店舗（直営店への切り替えが2店舗）あったことにより、当第2四半期連結会計期間末のフランチャイズ店の店舗数は298店舗（前期末293店舗、前年同期末289店舗）となりました。さらに連結子会社におきましては、当第2四半期連結会計期間末における株式会社紅フーズコーポレーションの店舗は14店舗、めっちゃ魚が好き株式会社は9店舗であり、当第2四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数は721店舗、当社の店舗数は698店舗となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高22,682百万円、営業利益1,517百万円、経常利益1,556百万円、四半期純利益780百万円となりました。

(注) 当社は、第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、28,038百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金5,127百万円、有形固定資産6,306百万円、のれん7,356百万円、差入保証金6,264百万円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、16,075百万円となりました。内訳は、買掛金1,529百万円、長期借入金3,710百万円（1年内返済予定の長期借入金1,308百万円を含めております。）であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、11,963百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、営業活動により765百万円増加、投資活動により497百万円減少、財務活動により1,601百万円減少した結果、前事業年度末より1,333百万円減少し、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額106百万円を含め、5,127百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果増加した資金は、765百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,432百万円、減価償却費756百万円による増加があった一方で、仕入債務が1,977百万円減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果減少した資金は、497百万円となりました。主な内訳は、固定資産の取得による支出が365百万円、新規出店に伴う差入保証金の差入による支出が178百万円あったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果減少した資金は、1,601百万円となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出が654百万円、割賦債務の返済による支出が663百万円あったこと等によるものです。

(注) 当社は、第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度末との比較は行っておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の業績予想につきましては、現時点では平成26年2月7日に発表いたしました予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、魚鮮水産株式会社、株式会社紅フーズコーポレーション、めっちゃ魚が好き株式会社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成26年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	5,127,094
売掛金	313,618
F C 債権	380,421
商品	272,386
貯蔵品	11,372
その他	1,241,402
貸倒引当金	△108,538
流動資産合計	7,237,758
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	5,276,013
その他（純額）	1,030,109
有形固定資産合計	6,306,122
無形固定資産	
のれん	7,356,777
その他	53,369
無形固定資産合計	7,410,146
投資その他の資産	
差入保証金	6,264,925
その他	844,302
貸倒引当金	△24,280
投資その他の資産合計	7,084,948
固定資産合計	20,801,217
資産合計	28,038,975

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成26年6月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	1,529,074
F C債務	528,203
1年内返済予定の長期借入金	1,308,340
未払法人税等	838,394
賞与引当金	58,392
役員賞与引当金	16,800
資産除去債務	1,972
その他	4,054,838
流動負債合計	8,336,015
固定負債	
長期借入金	2,402,065
退職給付引当金	99,360
資産除去債務	815,387
その他	4,422,711
固定負債合計	7,739,523
負債合計	16,075,539
純資産の部	
株主資本	
資本金	5,772,621
資本剰余金	2,814,673
利益剰余金	3,802,430
自己株式	△438,416
株主資本合計	11,951,308
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	9,559
その他の包括利益累計額合計	9,559
少数株主持分	2,567
純資産合計	11,963,436
負債純資産合計	28,038,975

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	22,682,269
売上原価	7,571,513
売上総利益	15,110,756
販売費及び一般管理費	13,593,239
営業利益	1,517,516
営業外収益	
受取利息	7,974
受取配当金	1,120
受取手数料	57,159
補助金収入	21,263
その他	13,714
営業外収益合計	101,232
営業外費用	
支払利息	54,530
その他	7,720
営業外費用合計	62,250
経常利益	1,556,498
特別利益	
固定資産売却益	15,474
特別利益合計	15,474
特別損失	
固定資産除却損	26,941
減損損失	102,081
その他	10,400
特別損失合計	139,423
税金等調整前四半期純利益	1,432,549
法人税、住民税及び事業税	804,015
法人税等調整額	△151,297
法人税等合計	652,718
少数株主損益調整前四半期純利益	779,831
少数株主損失(△)	△645
四半期純利益	780,476

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	779,831
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	6,493
その他の包括利益合計	6,493
四半期包括利益	786,325
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	786,970
少数株主に係る四半期包括利益	△645

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成26年1月1日
至平成26年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,432,549
減価償却費	756,776
のれん償却額	240,019
減損損失	102,081
長期前払費用償却額	32,449
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,040
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	7,800
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,605
貸倒引当金の増減額(△は減少)	24,685
受取利息及び受取配当金	△9,094
支払利息	54,530
固定資産売却損益(△は益)	△15,474
固定資産除却損	26,941
補助金収入	△21,263
売上債権の増減額(△は増加)	63,823
たな卸資産の増減額(△は増加)	28,284
F C債権の増減額(△は増加)	68,128
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,977,084
F C債務の増減額(△は減少)	△118,059
未払金の増減額(△は減少)	△493,925
その他	1,081,315
小計	1,278,049
利息及び配当金の受取額	9,105
補助金の受取額	21,263
利息の支払額	△54,615
法人税等の支払額	△485,236
リース解約金の支払額	△2,856
営業活動によるキャッシュ・フロー	765,709
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△365,174
固定資産の売却による収入	21,308
固定資産の除却による支出	△17,142
差入保証金の差入による支出	△178,716
差入保証金の回収による収入	75,570
その他	△33,218
投資活動によるキャッシュ・フロー	△497,374
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△654,865
自己株式の処分による収入	45,000
配当金の支払額	△188,094
割賦債務の返済による支出	△663,993
リース債務の返済による支出	△139,494
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,601,447
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,333,111
現金及び現金同等物の期首残高	6,353,759
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	106,447
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,127,094

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は居酒屋を中心とした飲食事業の他にセグメントとして、コントラクト事業とその他がありますが、飲食事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。